

スクールトピックス



翁島小の校庭でそり遊びを楽しむ児童



協力して雪だるまを完成させた両校の児童

翁島小と静岡県三島市坂小児童が交流

静岡県三島市立坂小学校の4、5年生の児童29人は1月24、25日の両日、本町を訪れ、翁島小学校4、5年生の児童20人とスキーなどの活動を通じて交流を深めました。

初日は、国立磐梯青少年交流の家で対面式を行った後、クロスカントリースキーなどの体験活動を実施。その後、パワーポイントなどを利用して各校の取り組みや各地域の特色などを紹介し、お互いの学校や地域の文化などについて理解を深めました。

2日目には、野口英世記念館を見学した後、翁島小の校庭で雪遊びを通じて友情を深めました。坂小5年生の太田凌さんは「静岡ではこんなにたくさん雪を見たことがありません。雪遊びができて楽しかったです」と感想を話しました。また、翁島小5年の山崎晴香さんは「坂小のみんなと一緒にクロスカントリースキーができて楽しかったです。新しい友だちもできました」と話しました。

笑顔でこんにちは



仲良し家族でハイ、ポーズ

家族からたくさんの愛情を受けて、悠真くんはすくすくと成長しています。

白川 悠真 くん

平成29年6月生まれ
～川桁
啓太さん・早紀さんご夫妻の次男

いつもきょうだいで仲良く遊ぶ悠真くん。兄の涼太くんとは、ボールを投げたり、蹴ったりして元氣いっぱい遊びます。姉の舞耶ちゃんとは、悠真くんが園児役になって幼稚園ごっこをするそうです。

仲良しきょうだいは寝る時ももちろん一緒。涼太くんは「悠真は寝る前に僕のベッドに来て一緒に遊ぶんだよ」と話しますが、何を遊ぶのかはパパとママにも秘密にしているそうです。

悠真くんはダンスも大好き。パパの啓太さんは「悠真はダンスに興味があるようなので、ダンス教室に通わせたいと思っています」と話します。

ママの早紀さんは「大人になってもきょうだいで協力し合い、いつまでも仲良く過ごしてほしいです」と話し、子どもたちを優しく見つめました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

スクールトピックス



雪を届けた土屋さん(左)と半澤さん(左から2人目)

雪だるま親善大使が沖縄を訪問

福島県と沖縄県との交流を目的に活動する「雪だるま親善大使」に選ばれた長瀬小学校6年生の半澤日向さんと土屋楓さんは1月22日から24日まで、沖縄県を訪問しました。

雪だるま親善大使の2人は、沖縄県庁で玉城デニー沖縄県知事を表敬訪問したほか、首里城公園や平和記念資料館などを見学し、沖縄の歴史や文化を学びました。

23日には、北中城村の島袋小学校を訪れ、発泡スチロールの型に入った雪だるまと長瀬小学校のメッセージを贈り、雪の魅力に触れながら交流を深めました。



土屋 楓さん

島袋小学校に雪をたくさん持っていきました。みんなとても喜んでくれて、雪玉を作ったり遊びましたが、暖かくて雪がすぐにとけてしまいました。平和祈念資料館では、戦争の時の資料を見ました。戦争はとても悲惨なものだと感じました。



半澤 日向さん

島袋小学校では、6年生全員がエイサーを踊って歓迎してくれました。福島の方言など、たくさんの質問を受けました。沖縄では、お城のことを「グスク」と呼ぶそうです。首里城などを見学して、琉球王国の歴史や文化を学ぶことができました。

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

石川 諒大 さん

主な活動内容：地域振興支援



地域おこし協力隊の石川です。今回は新しく計画している三つの地域振興に関する取り組みをご紹介します。

一つ目は、町の駅「まるしめ」にてパソコン教室の開設を考えています。私は協力隊員として町おこしを行う一方で、ITエンジニアの仕事をしています。皆さんがパソコン操作などで悩んだ時に相談できる場所を整えたいと考えています。

二つ目は、猪苗代町に劇団を誘致し、町内の集会所などで公演を行うべく計画中です。11月に開催された「ウォールアートフェスティバル」に刺激を受け、「猪苗代町×芸術・芸能」の可能性に気付きました。町内の活性化と交流人口の増加を図りたいです。

三つ目は、猪苗代町や磐梯高原エリアの撮影実績を発信する取り組みを考えています。有名ドラマや映画の撮影場所としてこの地域が出ていることを知り、もっと発信しないともったいないと感じたことがきっかけです。

興味がある取り組みがあれば、ぜひ声をかけてください。